

基本情報

需要家	合同会社I-FARM
事業の実施場所	千葉県匝瑳市
施設の名称 (需要家の法人名+建物の名称)	合同会社I-FARM I-FARM牧場
太陽光発電設備の導入方法	自己所有
導入設備	太陽光発電設備：187.20kW (太陽光パネルの出力) 159.90kW (PCSの定格出力) 定置用蓄電池：115.20kWh (蓄電容量)
稼働開始時期	2025年1月から発電開始
総事業費(税抜)	38,297,200円
平均の年間CO ₂ 削減率(削減量)	26.01% (76.92t-CO ₂ /年)

事業目的・概要等

牛舎では、搾乳機等の自動化や暑熱対策用の換気FANなどを多く使用するため、電力使用量が年々増えている。また、昨今の猛暑により、牛への身体的ストレスが大きいため、遮熱対策も工夫をしていく必要がでてきている。屋根への太陽光パネルの設置は、遮熱対策として効果があることが分かっている。そのため、ランニングコストの削減と乳量の維持を期待し太陽光パネルの導入を決定した。

一方で、季節や時間帯によって電力使用量が著しく異なるため、余剰電力が発生することから、余剰電力も有効に活用すべく蓄電池の導入を行うことは必須条件と考え、蓄電池を有効に活用するため容量が大きいものとした。

今後の再エネ導入に向けた取り組み

当社では、再エネ電力を有効活用すべく、搾乳を実施する時間帯なども工夫することで、再エネ電力使用の効率化を行っている。また、旧牛舎などへの電力供給なども含め、より再エネ電力電源を有効活用できるように、所内の電気使用環境などの工夫や効率化を更に検討中。

導入施設の外観



主な導入設備



太陽光パネル



パワーコンディショナー・トランス



定置用蓄電池